

令和3年度 環境で地方を元気にする  
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

## 成果報告会 発表資料

### 活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：一般社団法人をかしや

活動地域：愛媛県今治市と松山市

活動におけるテーマ・キャッチコピー

「道」にまつわる物語を紡ごう

# 活動団体紹介

## (一社)をかしやの業務内容

- 自然体験                      環境教育
- エコツーリズム              ファシリテーション
- プロガイド(インタープリター)養成

※をかし=古語

楽しい、ゆかいな

体験、ツーリズム



明るく楽しく持続可能な

いとをかしき世の中



団体HP <http://www.wokasiya.jp/> FB <https://www.facebook.com/wokaiya>

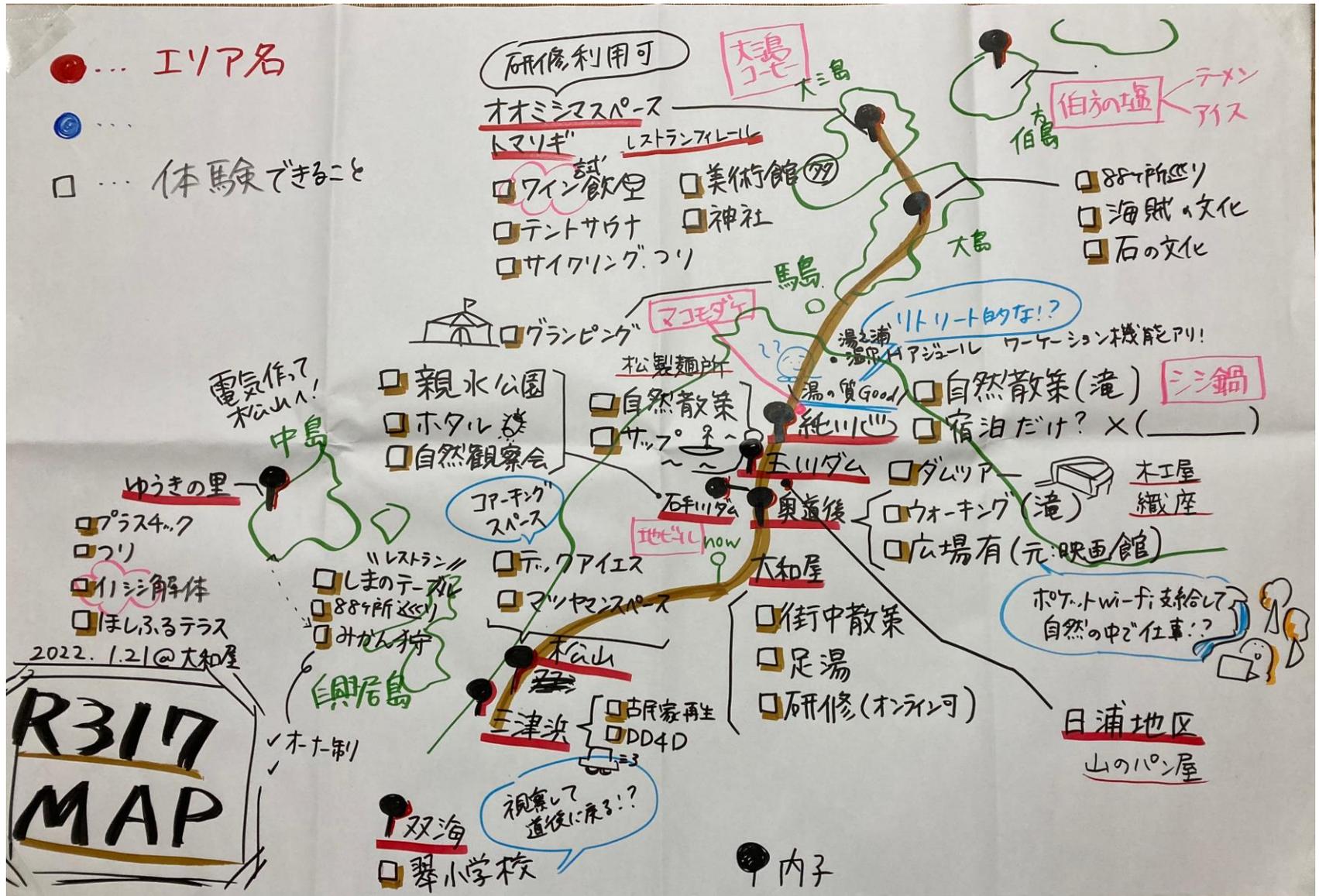
インタープリターとは? <https://kankou-redesign.jp/authors/kikuma-akira/>

# プロジェクト紹介

- 今回の事業では、**愛媛県今治市**、**松山市**を一体の地域として捉え「**道にまつわる物語**」を紡ぎます！



# 地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



# 地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

## 1. 勉強会 & フィールド体験の開催

R317エリアにある鈍川温泉、奥道後温泉にて、講師を招いた勉強会 & フィールド体験会を実施。テーマは地域活性とワーケーション

→それぞれの地域の魅力を生かしたワーケーションの可能性に気づく。

## 2. 先進地視察

隠岐島、海士町の視察 →小さな成功体験の積み重ねの大切さに気づく。

## 3. 島嶼部での現地フィールド体験会

しまなみ海道大三島、松山沖に浮かぶ中島、それぞれで体験会を実施。

→瀬戸内ならではの「島」の魅力を再発見。

## 4. 来年度方針策定ワークショップ

プロファシリテーターを招き、来年度方針を策定。

→学んできたことを形に。来年度ワーケーションモデルツアーを実施する！

# 地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組んだこと

**Route317プロジェクト**  
**キックオフ勉強会 & ワークショップ**

Route317号線は、米州からしまなみ海道、今治から山形まで東西に伸びる道路です。自然豊かな環境と気候などの強み、自然、魅力的な温泉地など豊かな資源があります。しかしこの地域は行政区分として、今治に属しており、一体感に欠けるのが事実。

そこで本プロジェクトでは、松山今治の一部の地域と捉え、Route317号線をシンボルとして「ワークショップやイベント」等を実施し、再生可能エネルギーなど地域内の経済循環を生み出すことを目指します。

**地域の未来のために、垣根を超えて一緒に考えませんか？**

講師：阿部裕志  
 1978年愛媛県喜多郡の生まれ。大学で工学部材料工学専攻。トヨタ自動車での生産技術エンジニアとして働く。その後、現職の地元のあり方に疑問を抱き、2008年海上にプロジェクトを立ち上げる。

その後、プロジェクトを先ずき出す地域づくり事業、トヨタ・白土・ウヰーという3つの自治体の協力を得て、大学の協力を得て再生可能エネルギーの導入を目指す。地元で思いを実現する。地元で思いを実現する。地元で思いを実現する。

・株式会社松山と代表取締役  
 ・AMAMホールディングス株式会社 取締役  
 ・取締役、プラットフォームの立ち上げに貢献する検討委員

令和3年6月27日  
 (日) 13:00~  
**講演&ワークショップ**

会場：松山 市民会館 市民ホール  
 参加費：無料 定員：30名程度  
 申込み・問合せ：フォームにて「再生可能エネルギー」

本企画は、松山 地域振興共生圏プラットフォーム事業の一環として実施いたします。

**ワークションの動向とコロナ禍での取組**

長野県 信濃町

今日の講師は、**赤堀 誠**  
 NPO法人 Nature Service

**Work x Vacation**  
 実は有利 検索しただけ

1/マドワークセンター  
 自然の中で働ける  
 ロボットのテストフィールドに  
 次世代産業育成

POINT  
 自然の境目をあまいにした

企業誘致のメリット  
 有体消化 取得促進  
 地域課題に取組む機会  
 オープンイノベーション 合宿地

**島根県 海士町レポート**  
 2021.11.18

人口2,300人  
 養蚕・養魚の島  
 人を惹きつける土壌改良  
 高齢化率41%の町

生き残りかけた 単独町!!  
 しごと作り まち作り  
 ひと作り  
 給与カット  
 住民の一体感が生かされた!  
 パスと新規 積極的採用

企業誘致のメリット  
 有体消化 取得促進  
 地域課題に取組む機会  
 オープンイノベーション 合宿地

**冷凍技術への挑戦**

魚具の輸送に流通コストがかりすぎる!!  
 エコ導入!  
 CAS (細月製生システム)

**挑戦できるまちづくり~若者との交流~**

一ツ橋大学を卒業し海士町  
 トヨタで中級工海士町へ...  
 和住者 17名  
 803人 定着率49%  
 循環 挑戦



**来年度どんな風にすめたい?**

もう少し 絞りにむ?  
 R317の事業に 実行する 選択E!  
 再生エネルギー 今の段階では 唐突?  
 具体的な 1Pへの実施  
 企業向け? 個人向け?  
 R317のハード資源 体験MAP!!



① R317の 具体的な 実行  
 ② 再生エネルギー 今の段階では 唐突?  
 具体的な 1Pへの実施  
 企業向け? 個人向け?

# 取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

- 自分たちの地域が、**極めて高いポテンシャル**を持っていることに気づいた。 →「当たり前」から「有り難い」へ
- お隣でありながら「**全く異なる自治体**」であった松山と今治が、参加したメンバーの中では「**自分ごと**」になり、興味が湧いた。  
→マイクロツーリズムの可能性
- 行政、大企業、中小企業、観光関連業者、宿泊業者、農業従事者、NPO、教育機関など、**全く異なる属性、背景を持つメンバー**が一つのチームになりつつある。  
→貴重な交流の場、という共通認識
- 何か一つ、**カタチにしてみよう!**という機運が醸成された。  
→事業化への第一歩



# 取組におけるボトルネックや新たに見えてきた課題

- さまざまなステークホルダーにご参加いただいているが、**金融機関と教育機関**の関わりが弱い。
- **事務局体制**が弱い。当初関わってもらえるはずのメンバーがごっそり抜けたためマンパワーが足りない。  
→来年度は事務局体制を強化することを目標とする。
- 本事業の予算は200万円。この予算では大きなことはできない。  
→本事業でプラットフォームを作り、他の競争的資金も使って事業展開することも視野に入れる。そのためにも**事務局体制の強化**が必要。

# 今後の展望

令和4年度の予定

1. 勉強会の継続。テーマはワーケーション、マイクロツーリズム、アドベンチャーツーリズム（AT）。
2. ワーケーションモデルツアーの実施。奥道後温泉を舞台に。「サイボウズ株式会社」、「ANAあきんど」等と連携を目指す。
3. 再生可能エネルギー先進地視察。地域内に4億円の経済循環を生み出している「内子バイオマス発電所」を予定。



地域の未利用木材を有効活用し、  
発電事業を基軸とした地域経済圏の確立を目指しています。

